

能登半島地震におけるこども支援及び中高生の居場所作りにおける調査と検証
— 石川県の中高生が求めるユースセンターの条件と立地に関する調査 —

指導教員 北陸大学 教授 田尻慎太郎

参加学生 4年 板谷悠希 梅野日花里 江川遙菜 大岩あずさ 芝田虎太郎
馬縹百優 山本志龍

本研究を進めるにあたり、一般社団法人第3職員室の皆様には、必要なデータの提供に快くご協力いただき、心より感謝申し上げます。また、調査にご協力くださったユースセンターの利用者の皆様にも深く御礼申し上げます。

視察の受け入れにご協力いただいた認定特定非営利活動法人カタリバ、公益財団法人児童育成協会の皆様には、貴重な時間を割いていただき、誠にありがとうございました。

研究の遂行にあたり、北陸大学経済経営学部マネジメント学科の田尻慎太郎教授には、終始熱心なご指導とご助言を賜りました。深く感謝申し上げます。

本研究の成果が、金沢市のユースセンターのさらなる充実と発展に寄与することを願っております。最後に、本研究にご協力いただいたすべての方々に心からの感謝の意を表し、謝辞といたします。

復興課題枠 石川県の中高生が求める ユースセンターの条件と立地に関する調査

北陸大学経済経営学部 田尻ゼミ (dラボ)
根谷悠希・梅野日花里・江川遙菜・大岩あずさ・芝田虎太郎・馬縹百優・山本志龍

ユースセンターとは

1

学校でも家でもない、ユース（若者、主に中高生）の**第三の居場所**のことである

2

放課後や休日にユース達が集い、様々な人達と出会う**中で学びを深め助け合う場所**

3

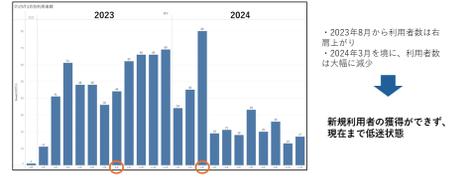
部や地方公共団体と連携して、若者支援の活動を行っている（ユースワーク）

①ユースセンター金沢ジュウバコ

| | |
|-------|--|
| 運営 | 一般社団法人第三職員室 |
| 場所 | 金沢市泉町3丁目3-3 |
| 開館時間 | 16:30~21:00 |
| 休館日 | 毎週月、木、土、日曜日 |
| 利用対象者 | 中高生を中心としたおのおの10代 |
| 設備 | ・本棚 ・ボードゲーム棚 ・くつろぎスペース ・ソファ ・ハンモック ・Free Wi-Fi など |



月別の利用者数推移(ジュウバコ)



石川県のユースセンター運営を改善する上で参考になりそうな要素

- 区との強い連携**
2つとも区からの委託ということもあり、支援が充実
- 周辺の学校との強い繋がり**
区の全校生徒分の宣伝冊子配布(B-lab) 学校カフェ(アップス)
- 地域の大人と出合える仕組み**
文京彩集(B-lab)
- 中学3年生を中心に宣伝**
口コミが広まりやすくなる

回答者属性



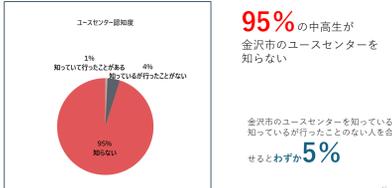
満足度は高い◎



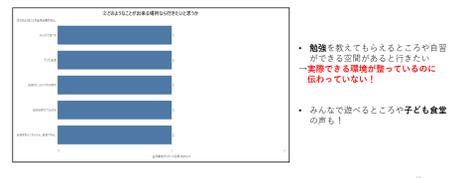
金沢駅前での中高生を対象としたユースセンターの認知度調査

| 調査日 | 場所 | 対象者と回答数 |
|-----------------------------------|--|-------------------------|
| ・2024年10月24日(木)~30日(水) (休日を除く) | ・金沢駅西口 ・金沢駅もてなしドーム 地下広場 ・金沢駅東広場 | ・金沢駅を利用している中高生 ・143名 |

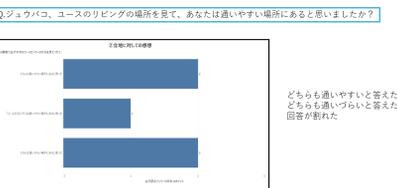
回答者割合



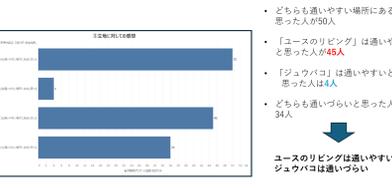
ユースセンターでどんなことができると行きたい？



立地に対する感想



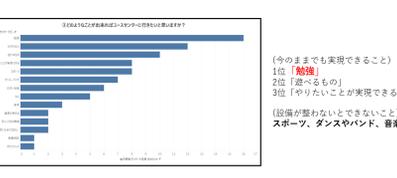
立地に対する感想



立地に対する感想と回答者の高校、最寄りのバス停



ユースセンターでどんなことができると行きたい？



ジュウバコの新しい候補地探し

☆金沢南エリアに着目
・複数の学校が集中しているエリア
・特に勉強に力を入れている学校が多い
・現ジュウバコ利用者のユースが今後通えるように

優先度
立地 > 部屋の種類 > 金銭面

これらを考慮+高山さんからのご意見の結果！ユースたちが快適に過ごせる空間があり、環境が最初からある程度に整っている**公民館**が適していると考えた。

金沢南エリアの公民館と部屋の種類



第一候補 富樫公民館



第二候補 伏見台公民館



明らかになったこと

- ①「ユースのリビング」「ジュウバコ」のどちらも、通っている「学校」が近くにある人は「通いやすい」と感じていること
- ②駅前アンケート回答者の中高生、現ユースセンター利用者のどちらも「勉強」に集中して取り組める環境を求めていること
- ③勉強以外でも「遊び」「やりたいことを見つける」ことを求める声も多いこと

1. 活動の要約

石川県内のユースセンターの現状を調査し、併せて中高生が必要としている居場所について分析した。また、東京都内のユースセンター2カ所を視察し、そこで導入されている仕組みや取り組みを確認した。その結果、多様な活動を支えるスペースの確保や、地域の行政機関や教育機関との連携が重要であることが分かった。これらの知見を基に、石川県金沢市泉野町にある「ユースセンター金沢ジュウバコ」の新たな物件候補地を検討した。候補地の選定においては、アクセスの良さ、施設の規模、施設の使用料金の3点を重視した。施設における充実度の面から公民館を借りることを考え、公民館の中から候補地を選出した。

2. 活動の目的

石川県金沢市泉野町にある「ユースセンター金沢ジュウバコ」は、2024年で借りている物件の契約が切れる。そのため、新たな拠点となる物件を探していた（2025年現在、契約期間の終了に伴い、移転準備のため閉館中）。石川県の中高生が求めるユースセンターの条件と、立地に関する調査を行い、ユースたちに対してどのような対応を取るべきかを明らかにした。さらに、アンケートの調査結果やユースセンターの視察経験から、立地や交通の面でどのような物件がユースセンターの活動を行う上で最適であるかを調査し、明らかにした。

3. 活動の内容

活動内容を表1に示す。主に①ユースのリビングでのスタッフ体験、②「ユースのリビング」、「ユースセンター金沢ジュウバコ」でのアンケート調査、③中高生に向けたユースセンターの認知度、理想の居場所像のアンケート調査、④公民館候補地の分析に取り組んだ。

表1 活動内容

| | |
|------------|---|
| 2024年7月 | ・ユースセンタージュウバコの現状、課題点の整理、打ち合わせ |
| 2024年8月～9月 | ・金沢市長町にあるユースのリビングでスタッフ体験 ・「ユースのリビング」「ユースセンター金沢ジュウバコ」でのアンケート調査 |
| 2024年10月 | ・東京のユースセンター「b-lab」「アップス」への視察 ・中高生に向けたユースセンターの認知度、理想の居場所像のアンケート調査 |
| 2024年11月 | ・「ユースのリビング」「ユースセンター金沢ジュウバコ」の来館者データの分析 ・「ユースのリビング」の初来館者データの分析 |
| 2024年12月 | ・公民館候補地の分析 |

4. 活動の成果

(1) ユースセンター利用者アンケート (n=15)

スタッフへの満足度は86.7%、設備への満足度は86.6%という結果が得られた。その理由として、スタッフが丁寧に勉強を教えている点や、ユースの願いを反映し、交流しやすいように工夫されている点が挙げられる。また、スタッフの熱意も利用者の満足度を向上させる要因の1つである。

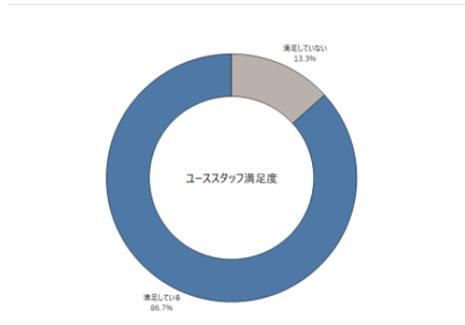


図 1 ユースセンターの満足度

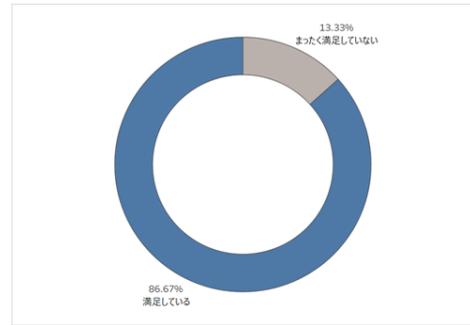


図 2 設備満足度

一方で、低評価を得たのは立地に対する満足度である。ユースセンター利用者の約半数が、不満を感じていると回答している。金沢駅からジュウバコまでは徒歩で約 50 分、バスでも約 30 分かかる。そのため、高校生にとって気軽に立ち寄れる場所とは言えない。このような立地の不便さが、新規利用者の獲得に結びついていないのではないかと考えた。

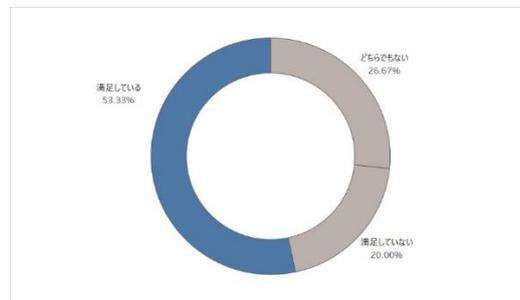


図 3 立地に対する満足度

(2) 金沢駅前での中高生を対象としたユースセンターの認知度調査 (n=143)

金沢市におけるユースセンターの認知度を問うと、95%の中高生がユースセンターを知らないという回答を得た。一方で、知っている人や知っているが行ったことのない人は、わずか5%であった。

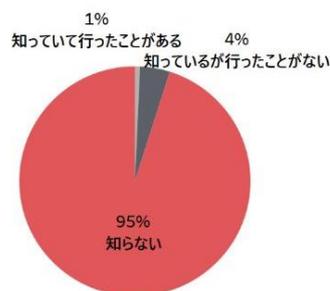


図 4 金沢市内のユースセンターの認知度

ユースセンターで何ができれば行きたいと思うかを問うと、主に勉強を教えてもらえるところや自習ができるといった回答を得た。実際にそのような環境が整っているのにも関わらず、中高生に対して上手く認知されていないことがわかる。

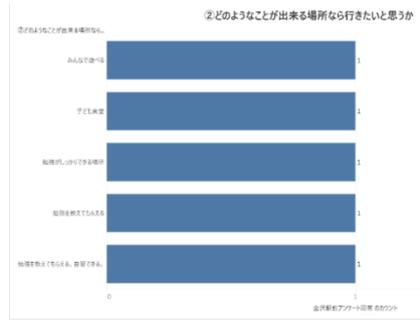


図 5 どのようなことができればユースセンターに行きたいと思うか

(3) 金沢市南エリアにある公民館の分析

ジュウバコの新しい候補地探しとして、金沢南エリアに着目した。理由は以下の3点である。

- ・勉強に力を入れている学校が複数集中しているエリアである
- ・現ジュウバコ利用者のユースが今後も通えるようなエリアである
- ・金沢駅前周辺でアクセス良好な「ユースのリビング」の立地はそのまま、「ジュウバコ」の場所を変更することで棲み分けをする

優先度として、立地、部屋の種類、金銭面の3点を挙げた。ユースたちが快適に過ごせる空間があり、環境が最初からある程度に整っている公民館が適していると考えた。また、中高生を対象としたアンケート結果から①勉強を黙々と取り組むことができ、少しの会話が出来る場所、②防音施設、③身体を動かせるスペースがある場所という条件を踏まえ、公民館を選んだ。



図 6 金沢南エリアの公民館と部屋の種類

第1候補の公民館は、富樫公民館である。泉丘高校前のバス停から富樫公民館最寄りのバス停“窪”には約7分+徒歩約5分、自転車では約5分の距離、錦丘高校前から窪へ約1分+徒歩約3分の距離、自転車では約3分である。学習室や多目的室があり、勉強をしたいユースやダーツ、ボードゲーム等で遊びたいユースにとって不足ない。

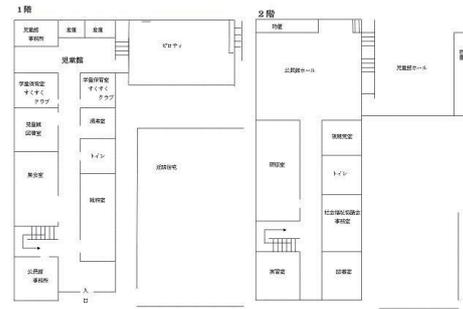


図 7 富樫公民館の外観、施設平面図（画像出典：富樫公民館 | トップページ）

第2候補の公民館は、伏見台公民館である。泉丘高校前から公民館までバスを利用すると、“窪南”まで約9分+徒歩約9分の路線と“金沢赤十字病院前”まで約8分+徒歩約8分の路線がある。錦丘高校からは徒歩約10分の近さにある。大ホールや多目的ホールという大きい空間があるため、ユースがのびのび遊ぶには丁度良い。広く自由な空間があるという点は、富樫公民館と差別化できる。

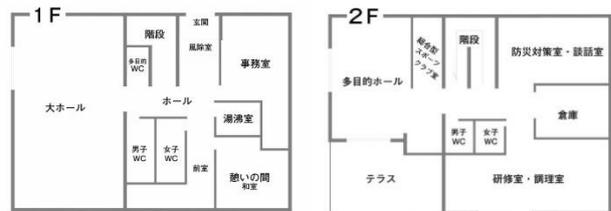


図 8 伏見台公民館の外観、施設平面図（画像出典：金沢市伏見台公民館 | ホームページ）

5. 今後の活動計画

担当教員異動のため、1年目で終了予定

6. 活動に対する地域からの評価

利用者ならびに一般の中高生を対象に、ユースセンターについての意識調査を実施し、結果を可視化してくれたのは非常に役に立った。その結果、①「ユースのリビング」「ジューバコ」のどちらも、通っている学校が近くにある人は「通いやすい」と感じていること、②駅前アンケート回答者の中高生、現ユースセンター利用者のどちらも勉強に集中して取り組める環境を求めていること、③勉強以外にも「遊び」や「やりたいことを見つける」ことを求める声も多いことが明らかになった、ことについては、今後の運営に役立てていきたい。さらに、ユースセンターの認知度や新たな物件選びの条件などを知ることができた。またユースセンターの臨時スタッフとして活動いただいたことにも深く感謝申し上げます。